

平成28年度の取り組みについて

1 総合的視野に立って

地域を取り巻く生活環境が、大幅に変化しようとしています。

新和地域においては天草市誕生後も人口は減少傾向をたどり、平成18年4月が総人口3,953名に対し、高齢化率が34.7%、平成27年3月が総人口3,280人に対し、65歳以上の人口が1,350人、高齢化率が41.16%。そして本年28年1月現在で総人口が3,186人に対し、65歳以上の人口が1,367人、高齢化率が42.91%となっています。

少子高齢化等により地域の先行きも不透明な状況下に陥っており、今後、社会福祉法人として、どのように地域とかかわっていくかが更なる課題となってきています。社会福祉法人は単に社会福祉施設の運営を行う限定された組織としてだけではなく、「地域の中で、地域の方々と、どう寄り添い、社会ニーズに対応しなければならないか?.....」そうした視点からも取り組むことが求められてくると感じています。

社会福祉法人緑新会は定款に定める第1種社会福祉事業及び第2種社会福祉事業そして公益事業等だけではなく、施設のもつ人的支援等も含め、あらゆる面で地域との共生が求められてくると考えています。地域の団体を問わず、今後将来を担う若い世代が、地域で実践する異業種を超越した取り組みについても積極的に参加し、同時に、支援も行っていきたいと考えています。

2 介護保険事業について

天草市においては、平成27年度から3年間、第6期の介護保険事業計画「健やか生きいきプラン」が策定されています。その中において、地域密着型特別養護老人ホーム（定員29名）が中央圏域（本渡地区・五和地区・新和地区）に2カ所建設計画が示され、平成29年度からのサービス開始が予定されています。特養施設への入所要件が要介護3以上に限定され、かつ待機数が減少し、更に在宅サービス利用者であるショートステイ利用者も減少している実情からも、現在取り組んでいるすべての事業に対しての見直しを行うと同時に、介護保険導入の当初から提言されていたように、いかにして当法人のサービスを選択していただくか？ そのためには法人ならではのPRを明確にしていく必要があると考えています。その一步が、ご利用者処遇の向上のためのサービスの質の向上に努めることだと考えています。適正な職員配置数を検証しながら、取り組んでいく必要があります。また本年は平成18年より公益事業として定款に位置づけた「有料老人ホーム」について、現在のご利用者を最後に事業の閉鎖を予定しております。そうした観点からも事業についての再点検を実施していきたいと考えています。

3 職員のスキルアップについて

サービスの質の向上のためのスキルアップについては、今日まで計画的な実践に取り組んできましたが、職員の年齢の多様化等を鑑み、改めて計画的な学習を設けていきたいと考えています。職員の勤務年数及び経験値を加味しながら検討を行い、本年度は総合健康推進財団を窓口として、接遇から、介護記録等まで専門性を持った研修プログラムの作成を行っていきます。経験年数や職種

に捉われることなく、年代を超え現状についての課題や問題点に対して個々人が意識付をもち、お互いが成長できるようモチベーションアップに努めていきます。

研修予定（案）

回数	A日程	B日程	カリキュラム	内容	講師
1	5月11日 (木) 14時～16時	5月18日 (木) 14時～16時	福祉職場における 接遇研修①	福祉職場における 研修等は？	公益財団法人 地方経済総合 研究所 田中亜紀子氏
2	6月1日(水) 14時～16時	6月8日(水) 14時～16時	福祉職場における 接遇研修②	気持ちの伝わる電 話対応等	
3	7月20日 (水) 18時30分 ～ 20時30分	7月21日 (木) 10時～正午	介護施設における 倫理・法令遵守研修	対人援助職におけ る職業倫理等	Office Ishimoto 代表 石本淳也 氏
4	8月18日 (木) 18時30分 ～ 20時30分	8月19日 (金) 10時～正午	安全対策研修	事故予防とリスク マネジメント等	・熊本県介護福 祉士会長 ・日本介護福祉 士会副会長
5	9月28日 (水) 18時30分 ～ 20時30分	9月29日 (木) 10時～正午	福祉職としてのコ ミュニケーション 技術向上研修	対人援助に求めら れるコミュニケー ション力とは？等	・社会福祉士 ・介護福祉士 ・介護支援専門 員
6	10月19日 (水) 18時30分 ～ 20時30分	10月20日 (木) 10時～正午	虐待防止・身体拘束 廃止に関する研修	高齢者虐待防止法 の理解と対応上の 基本的考え方等	
7	11月21日 (月) 18時30分 ～ 20時30分	11月22日 (火) 10時～正午	リスクマネジメ ント研修①	状況に応じた介護 事故防止対策等	
8	12月14日	12月15日	リスクマネジメ	介護事故の事例検	

	(水) 18時30分 ～ 20時30 分	(木) 10時～正午	ント研修②	討等	
9	平成29年 1月18日 (水) 8時30分～ 20時30 分	平成29年 1月19日(木) 10時～正午	介護記録研修① リスクマネーজে ントの視点から	介護記録の意義と 書き方 質の高い介護記録 を実施するために 等	
10	2月23日 (木) 8時30分～ 20時30分	2月24日(金) 10時～正午	介護記録研修② リスクマネーজে ントの視点から		

また、上記研修とは別に継続研修としての「動き出しは当事者から・・・」を主眼においた仮称・水俣講座や、地域に対しての取り組みを行う「やねだん研修」、そして施設内研修としての感染症予防研修や老人福祉施設協議会主催の総合的な研修において計画的なスキルアップにも努めていきたいと考えています。

4 職員の確保について

近年での課題は、人件費の増大が最も懸念されるところでありますが、総合的な職員数の適正な配置を第一として考えながら、年齢形成に配慮した雇用に重視をおいて採用計画を再検討していきたいと考えています。今後検討すべき要因となっているひとつが、結婚・出産といった女性の就労についてのサポート体制に具体的な対策が必要との認識を強くもっています。現在でも数名の職員が産後休暇を取得中ですが、そのためには、どうしても代替職員の補充をしなければなりません。代替職員を募集する場合、雇用期間を限定すると応募してくる職員が少なく、応募されても労働内容が限定されており、半日勤務等を含む短時間勤務で、且つ仕事の内容が限定されるケースが見受けられます。極力働く職員に対して負担のこないサポート、そして少しでも早く復職してもらい、そうした働く職場として側面からも支援できる体制について早急に取り組まなければならないと感じています。就業規則の見直しと、継続して働けるための環境整備を構築していきたいと考えています。また、継続雇用等を希望する職員の増加も考えられるため、再度制度の検証を行いながら、新規学卒者の採用計画も積極的にすすめ、バランスのとれた年齢構成に努めていきます。

5 「ひだまりの里」の事業所間の連携強化について

本年度より、天草市立新和病院の医師が新たに着任されることにより、再度連携の中身について協議を行っていきます。本年も引き続き3名による医師体制が継続されることとなっています。医師はもちろんのこと、新和病院の看護師等との連携の充実にも努め、昼夜及び緊急時の際の対応等にも臨機応変な対応が維持継続できるように、コミュニケーションを図っていきたいと考えています。また、社会福祉協議会、小宮地保育所とも「ひだまりの里」が設立に至った経緯と理念を再構築して、初心に戻って新たな信頼関係の構築に努めていきます。

6 地域貢献事業について（生計困難者に対する相談支援事業）

平成28年1月1日より開始した第2種社会福祉事業に位置付けしている「生計困難者レスキュー事業」は、当地域では依頼は発生していませんが、隣町である河浦町では地元社協との連携のもとに実績がでている事例もあり、先駆的に取り組まれている事案を参考にしながら、要望等に対して取り組んでいきたいと考えています。